

学校給食を今のままで継続できるか

山田町長／値上げせざるを得ない



渡邊 正俊 議員

渡邊 学校給食の運営に関して、総合的に食品の値上がりが気になりますが、今までの保護者負担で今後も継続して行けますか。

町長 学校給食は、保護者から納めていただく給食費でまかなわれており、その額についても学校関係者、PTAの代表者などで組織する学校給食運営委員会の中で審議して決めています。

現在の給食費は、学校給食に携わるこれらの関係者のご努力により、約10年間すえおいたまま、値上げせずに提供しています。

しかし、今後については、小麦・食用油などの原材料や燃料費の高騰による輸送コストの増などにより、食材の値上げが続き、現状のままでの提供が極めて困難になっていることから、値上げせざるを得ない状況だと聞いています。



笑顔が絶えない学校給食（小学3年生の教室）

高医療町となる原因を把握しているか

山田町長／多くの疾患が生活習慣に起因している

渡邊

町は、国民健康保険が国の指定

を受けるなど、高医療町の状態が続いていますが、これらの原因をきちんと把握していますか。

また、健康増進運動などを町民総参加のもと、恒常的に行なうべきと考えますが、どのような努力をしてきたのですか。

町長

高医療町の原因については、町

が所管する国民健康保険の加入者データからの分析になりますが、第1位が高血圧症疾患、脳梗塞、脳内出血と続き、循環器系の疾病が多い状況にあります。

日常的な生活の中でおちいつてしまう肥満や高血圧・糖尿病などの生活習慣病が重症化しています。

このような状況の中で、健康増進につながる恒常的な施策として、広野町健康づくり10ヶ年計画を、平成20年度制定をめぐりに策定しています。

この計画は、町民1人ひとりが健康で幸せな生活を送るために必要な支援や環境整備を積極的に推進するものです。

「ひろの創造プラン21」の進み具合は

山田町長／重点施策を定めている

鈴木 第3次町勢振興計画の後半の見

直版である「ひろの創造プラン21」は、計画どおり進んでいますか。

町長 基本計画の見直しにおいて重点

施策を定め、限られた財源の中で事業を推進しています。

今後まちづくりの

理念を踏まえ、「自然と

ともに新しい文化をつくるまち ひろの」の

実現に向け、諸施策に取り組んでいきます。

住環境や防災面の問題をどうするのか

山田町長／道路整備を含めて個別に検討する

鈴木 過去に町営住宅を借家人に譲渡したケースがありますが、なぜ譲渡にいたったのですか。

譲渡した住宅は、現在、住環境や防災等の面から不安を抱く住民も少なくありませんが、この問題をどう解決するのですか。

町長 町営住宅の譲渡については、昭和41年度から43年度にかけて、火の口団地および広長第1団地、昭和51年度に愛坂団地を譲渡していますが、経緯としては、居住する住民からの請願によるものです。

また、譲渡した住宅の住環境および防災面については、今後道路整備等を含め、個別に検討して行きます。



集団登校する小学生

鈴木

小・中学校で携帯電話を所持している児童・生徒がいると思いますが、どのような考えをもって許可し、また、どの程度それらの実態を把握し

ている児童・生徒がいると思いますが、どのような考えをもって許可し、また、どの程度それらの実態を把握し

教育長

小・中学校で携帯電話を所持している児童・生徒がいると思いますが、どのような考えをもって許可し、また、どの程度それらの実態を把握し

ている児童・生徒がいると思いますが、どのような考えをもって許可し、また、どの程度それらの実態を把握し

携帯電話の所持を学校は許可したのか

芦川教育長／学校に持ち込まないように指導している



鈴木 正範 議員

で、携帯電話を学校に持参しないように指導しています。

ただし、さまざまな理由や考え方があって、携帯電話を所持している児童生徒もおりますので、その必要性や所持させるか否かについては、保護者の監督責任において判断していただかざるを得ません。

また、携帯電話に関する指導・教育については、教育課程の中で情報モラル教育をそれぞれの教科・学年で指導しています。